



日本共産党 品川区議会議員 区政報告  
としふみ ニュース  
**のだて 稔史**

区政報告について  
ご意見、ご要望を  
お寄せ下さい。

仮事務所：品川区豊町6-12-6 Tel：03-3786-6674  
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

世界でも高い日本の大学授業料

**大学生の 学び・生活が奪われる**

▶ 討論の様子



区議会に区の返還免除型奨学金の大学生への拡大を求める請願書名が出され、10月23日の本会議で大学生の給付型奨学金を求め賛成討論を行いました。

**教育費の負担が重い**

一つ目の賛成理由は教育費の家庭負担が重いことです。

OECD加盟国の約3分の1では授業料が無料ですが、日本の大

学授業料は世界でもトップクラスの高さです。初年度納付金の平均額は国立で約82万円と過去最高です。

同時に家庭の収入とともに仕送りも減り続け、学生の1日の生活費は677円、ピーク時の1/4に減り、バイトが前提で食費を抑える生活です。

また授業料が高いために奨学金Ⅱ借金を約4割の学生が借りなければならず、卒業時に平均で300万円、多い人では1000万円以上の借金を抱えます。

10年から20年以上返済することになります。非正規雇用が広がっており、自己破産に追

い込まれる場合も2017年度は2447件と急増しています。学生は返せるか不安でたまりません。

さらに奨学金を借りたら危ないと借り控えも起きています。

アルバイトで授業料を稼ぐ学生は睡眠時間や学習時間が削られています。

中には「アルバイトを入れすぎて授業に出席できなくなった」学生もいます。

学生から学びだけでなく学生生活を奪っているのが実態です。

家庭の経済力に関係なく教育を保障するため大学の教育費負担の抜本的軽減が必要です。

が、非正規雇用が広がっており、自己破産に追

抜本的軽減が必要です。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、34歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

## 国の支援では不十分

2つ目の賛成理由は国の行う支援では不十分ということです。

区は「国の動向を注視する」と言いますが、国が来年4月から行う授業料減免や給付型奨学金の拡大の対象は住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯のみで学生の約1割にすぎず、4割以上が奨学金を借りているのに少なすぎます。

また、国の法改正で修学支援と引き換えに国立大学の授業料減免制度が廃止されることにより、減免を受けられなくなる学生が全国平均で約3割もいるという問題も起きています。

安倍首相は国会で「制度施行までに検討する」といいましたが、具体的な対策は示されていません。

## 教育の無償化こそ

国連人権規約に高等教育の漸進的無償化が明記されています。

日本も2012年に留保を撤回したのですから教育の無償化にこそ踏み出すべきです。

それにもかかわらず安倍政権が高等教育の無償化と言いつながら学費値上げを容認していることは許せません。

ある高校3年生は「家庭の経済状況を鑑みて学費の安い国公立大に進学したい。知り合いは母子家庭で少しでも費用を減らし、家計を圧迫しないようにしたい」と言いました。学生の希望となり、親の負担を減らし、お金のあるなしで高等教育を受けられないことがないように願います」と話してくれました。

この願いに応え、教育機会均等の保障のため教育負担の軽減へ本請願を採択し区議会として希望を示そうと各議員に呼びかけました。

無所属（立憲民主）の議員も賛成討論を行い、共産党6名を含めた14名の議員が賛成しました（左写真）が、賛成少数で否決されました。

学生の切実な願いにもこたえられない自公政治を転換し、教育の無償化を実現させるために全力を尽くします。

学生が切実に願っている教育の無償化を実現させるために全力を尽くします。



▲立っているのが賛成議員。共産6、品改3、ネット2、無所属3の計14名

日本共産党

無料

法律相談

11月12日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史仮事務所 豊町6-12-6  
お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。  
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674  
場所が変わりましたので間違えないようご注意下さい。